

# 教員活動評価実施報告書

平成28年度

教育・研究等評価室

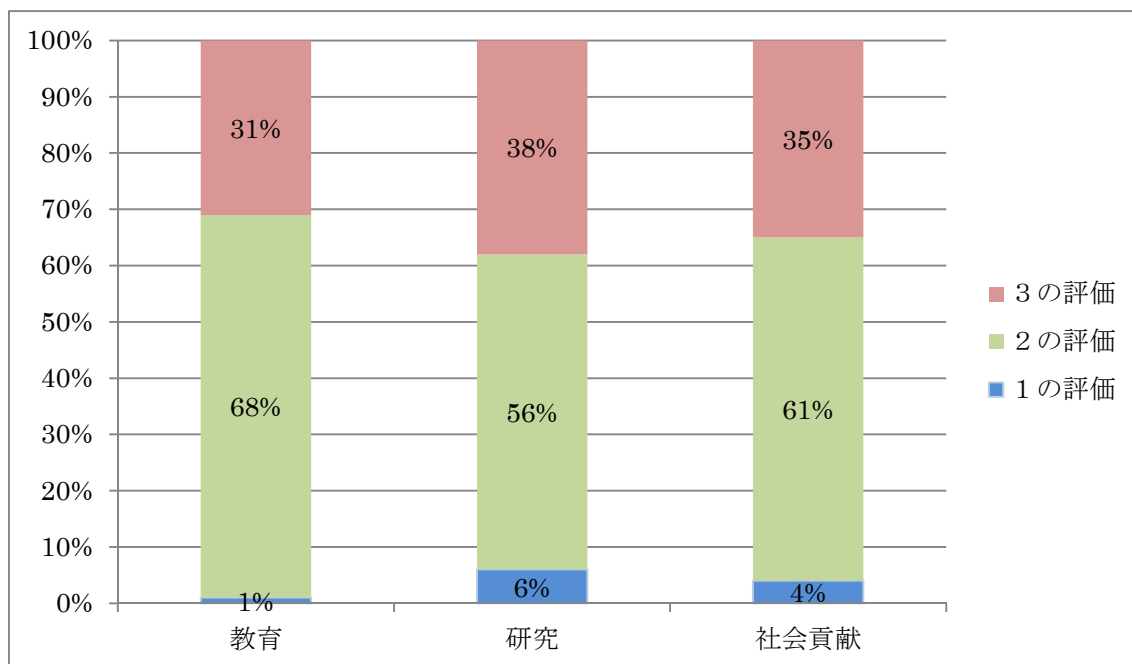
(外部用)

## 平成 28 年度 教員活動評価実施報告書

本学では、「教員個人の活動状況を点検することによって、その活動の一層の活性化を図り、本学の教育・研究の質の向上と運営等の改善に資する」という目的の下に、例年、教員個人の教育研究等の活動評価を実施している。平成 27 年度の教員活動についても、下表のとおり評価を実施した。

### 1. 全体の評価結果

#### ・全体評価



※本グラフは、全学の状況を概観するため各部局の結果を集約したものである。

※なお、評価は、各部局の特性に応じ異なる基準で行われていることから、具体的な状況は、「2. 部局別評価結果」を参照

評価領域	教育	研究	社会貢献
3の評価	31%	38%	35%
2の評価	68%	56%	61%
1の評価	1%	6%	4%

#### ・評価の尺度（3段階評価）

- 3：活動は極めて優れている
- 2：活動は期待される水準に達している
- 1：活動は不十分で改善を要する

(外部用)

埼玉大学は、地域活性化の中核となり、世界/日本の教育研究拠点として光を放つことを目指して、改革を進めてきている。そこで、教育、研究、社会貢献の3領域について、教員活動を概観する。

大学全体でみると、教育領域で3の評価を受けた教員の割合は約31%、2の評価は約68%、1の評価は約1%であった。研究領域では、3の評価は約38%、2の評価は約56%、1の評価は約6%であった。社会貢献領域では、3の評価は約35%、2の評価は約61%、1の評価は約4%であった。3領域のバランスをみると、今回の評価結果では、いずれの領域の評価でも、ほぼ同じような分布となっている。前回の評価と比べると、研究領域では、3の評価を得た教員が少しではあるが増加している。教育領域と社会貢献領域は、ほぼ前回と同様である。このため、研究領域では、前回の評価結果に基づき教員活動の改善がなされたといえる。

教育領域について、本学は、平成27年度、①理工系人材育成の量的・質的強化のため、理工系人材育成戦略を踏まえて理工学研究科博士前期課程の定員を50名増員し、学士・修士6年一貫教育のためのカリキュラム改革の一つとして、平成28年度より実施する「理工系基礎教育プログラム」実施のための体制を整備し、②人社系人材育成の質的強化のため、既存の文化科学研究科と経済科学研究科を統合して人文社会科学研究科を設置し、③教員養成の質的強化のため、小学校教員養成へシフトするカリキュラム改革等を行うとともに、教職大学院を設置した。各部局が組織としてこれら大学改革の取組を着実に遂行するとともに、各教員がこれらの大学改革を理解して、教育活動の一層の向上に努めることが求められよう。そして、例えば、平成28年度からのクォーター制実施に向けて、平成27年度後期の授業で試行し、早めの宿題や試験問題の告示などの工夫について提言し、大学の教育に関する大きな貢献をした教員もいる。また、平成27年度大学ダンスフェスティバルでも文部科学大臣賞（最優秀賞）を受賞するなど、全国規模の大会で毎年のように受賞しているダンス部の顧問として長年学生を指導している教員もいる。

研究領域では、前回より3の評価を受けた教員が増加した。また、過去3年間の研究活動の業績ごとの経年変化でも、研究活動が全体として向上しつつあることが窺われる。そして、より高い研究水準を目指して平成26年度に設置された戦略的研究部門（ライフ・ナノバイオ領域、グリーン・環境領域、感性認知支援領域）は、URA オフィスと連携し大型外部資金を獲得するなどしている。この部門に重点配置された教員の研究活動がより活性化することはもちろん、他の教員もこれらの教員と競ってより一層の研究活動を行うことが期待される。

社会貢献領域では、日経BP社の「大学ブランド・イメージ調査2016-2017」【首都圏版】でのブランド評価結果において、本学は「地域社会・文化に貢献している」で1位を4年連続で獲得するなど、外部から高い評価を得ている。そして、例えば、平成27年度大学ダンスフェスティバルでも文部科学大臣賞（最優秀賞）を受賞するなど、全国規模の大会で毎年のように受賞しているダンス部の顧問として長年学生を指導し、社会貢献を行っ

(外部用)

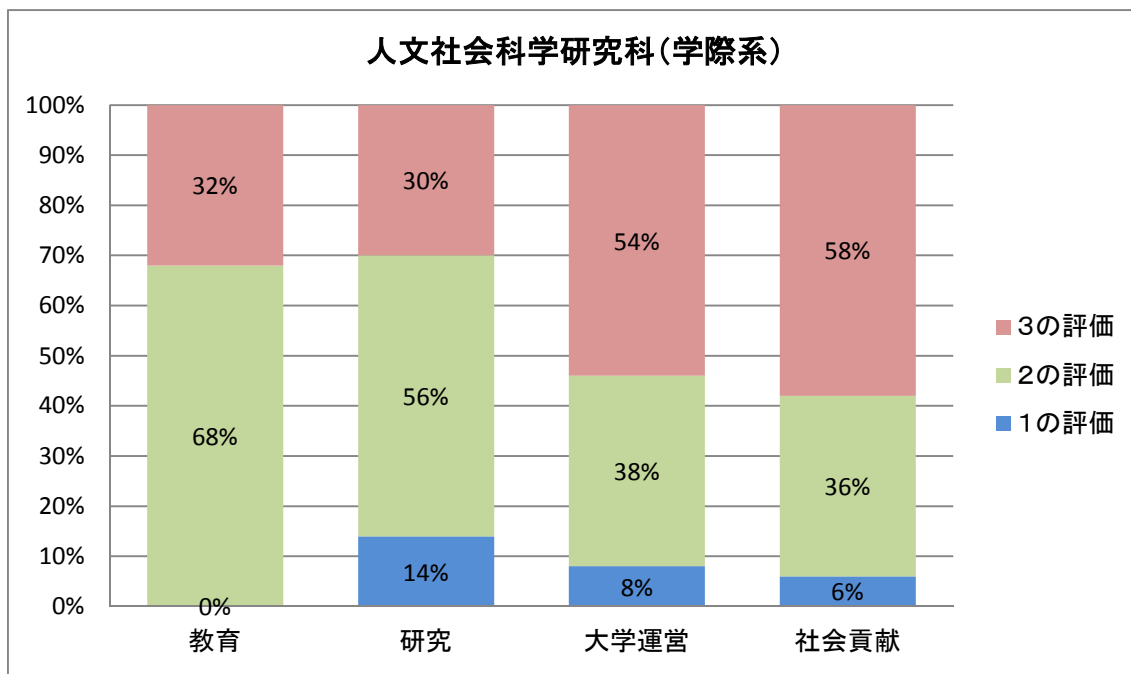
ている教員もいる。また、朝日新聞社との「朝日・埼玉大学県議選アンケート調査」や「朝日・埼玉大学知事選アンケート調査」を実施し、社会に対する大きな貢献をした教員もいる。3の評価を得た教員は前年と同じ割合を保っており、教員のこの領域における活発な活動が、外部の高評価を維持することにもつながっているとみることができる。この評価を維持しつつさらに地域の活性化に貢献するよう、今後も、多くの教員が積極的に社会貢献に取り組むよう、全学的にも部局としてもさらに工夫することを望みたい。とりわけ、本学は、第3期中期目標期間における機能強化の方向性として文部科学省が示した3つの枠組みのうち、「重点支援①：地域のニーズに応える人材育成・研究を推進」を採用しており、この点からも、教育・研究活動と連動させた、地域貢献領域での教員活動の積極的な展開が求められるといえよう。

各部局の評価は、今年度も全体としておおむね適切に行われていると評価することができる。もっとも、部局横断的に見ると、領域によっては各部局ごとに評価の分布が大きく異なっている。部局によって評価基準が異なるために単純な比較ができないことはもちろんであるが、3の割合の相対的に低い部局に教員活動の一層の活性化のための工夫を求めるとともに、3の割合の相対的に高い部局には、より高い水準を目指しての評価基準の検討を望みたい。また、各部局で把握している課題については、次年度へ向けて、教員活動のさらなる活性化のために改善に積極的に取り組むことを期待する。

(外部用)

## 2. 部局別評価結果

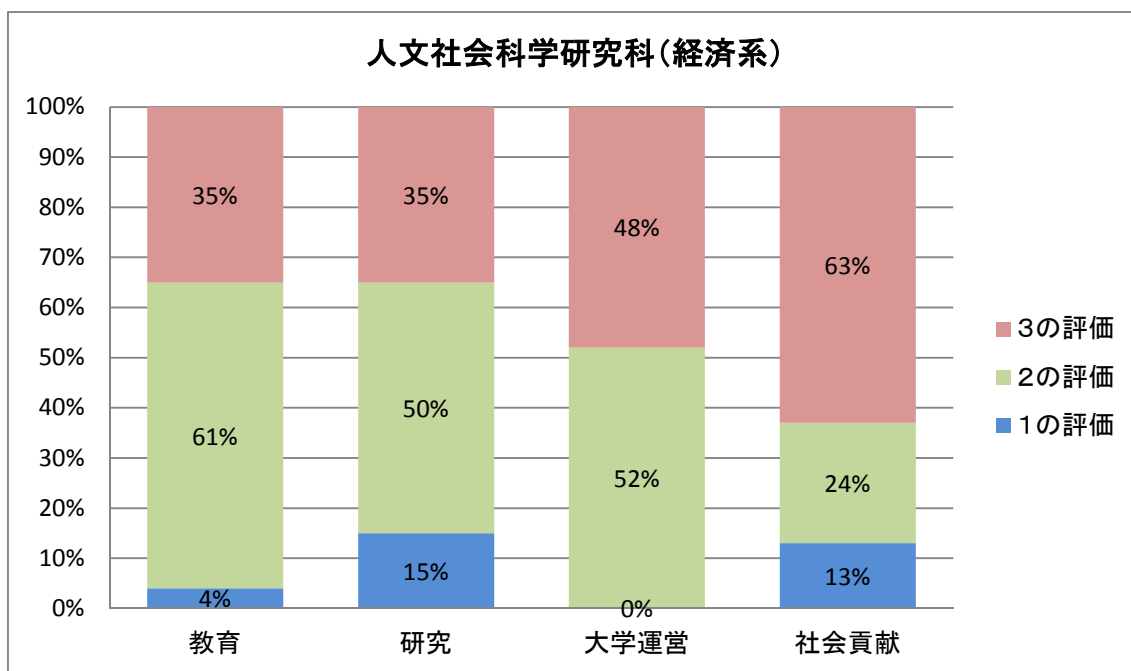
(1) 人文社会科学研究科 (学際系) (評価対象人数 : 50 名)



	教育		研究		大学運営		社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	16	32%	15	30%	27	54%	29	58%
2の評価	34	68%	28	56%	19	38%	18	36%
1の評価	0	0%	7	14%	4	8%	3	6%

(外部用)

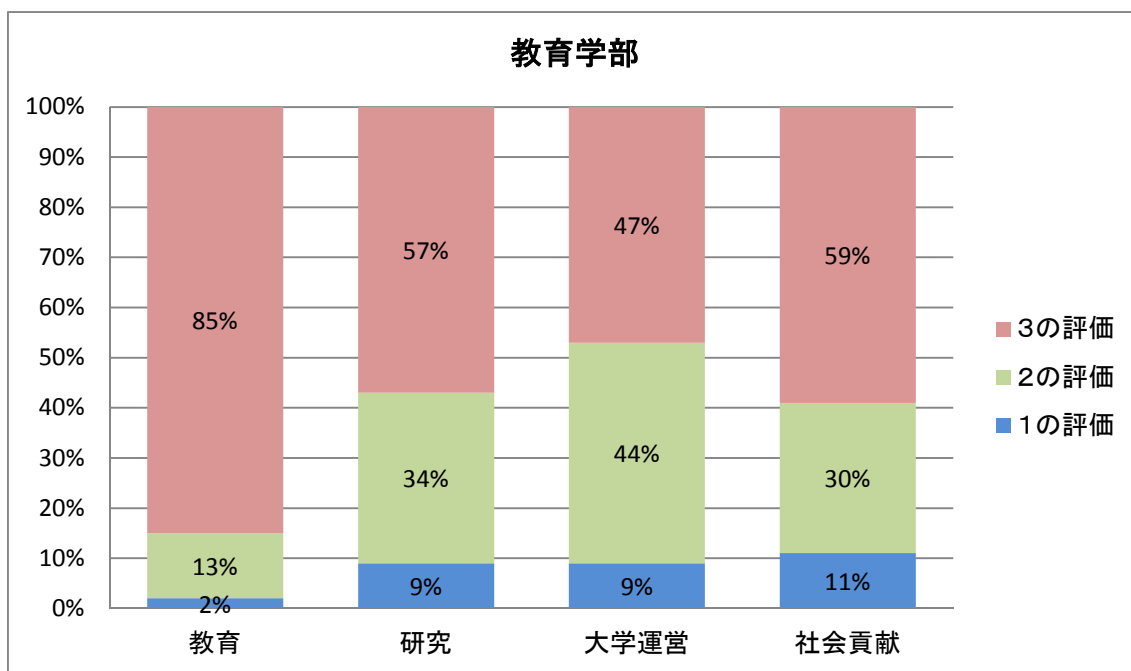
(2) 人文社会科学研究科(経済系) (評価対象人数: 46名)



	教育		研究		大学運営		社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	16	35%	16	35%	22	48%	29	63%
2の評価	28	61%	23	50%	24	52%	11	24%
1の評価	2	4%	7	15%	0	0%	6	13%

(外部用)

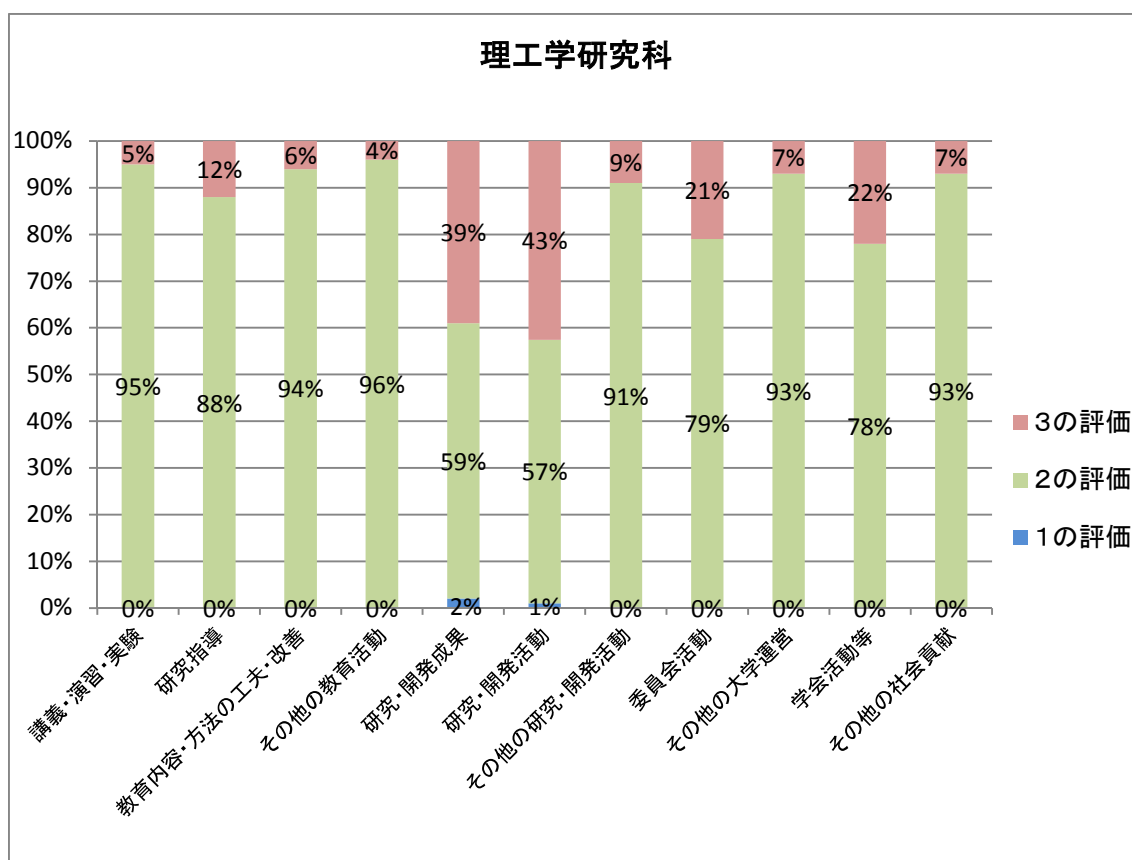
(3) 教育学部 (附属教育実践総合センター含む) (評価対象人数: 104名)



	教育		研究		大学運営		社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	88	85%	59	57%	49	47%	61	59%
2の評価	14	13%	36	34%	46	44%	31	30%
1の評価	2	2%	9	9%	9	9%	12	11%

(外部用)

(4) 理工学研究科 (評価対象人数: 223名)



	教育							
	講義・演習・実験		研究指導		教育内容・方法の工夫・改善		その他の教育活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	12	5%	26	12%	14	6%	8	4%
2の評価	211	95%	197	88%	209	94%	215	96%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	研究					
	研究・開発成果		研究・開発活動		その他の研究・開発活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	88	39%	95	43%	19	9%
2の評価	131	59%	126	57%	204	91%
1の評価	4	2%	2	1%	0	0%

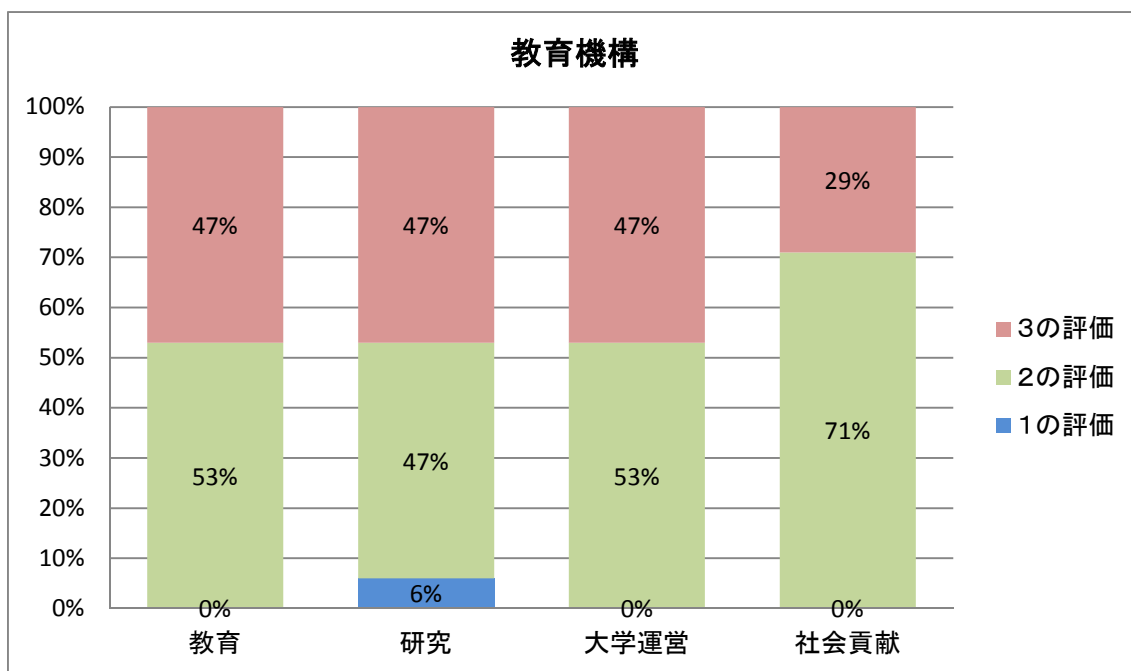


(外部用)

	大学運営				社会貢献			
	委員会活動		その他の大学運営		学会活動等		その他の社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	47	21%	16	7%	50	22%	16	7%
2の評価	176	79%	207	93%	173	78%	207	93%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

(外部用)

(5) 教育機構 (評価対象人数 : 15名)

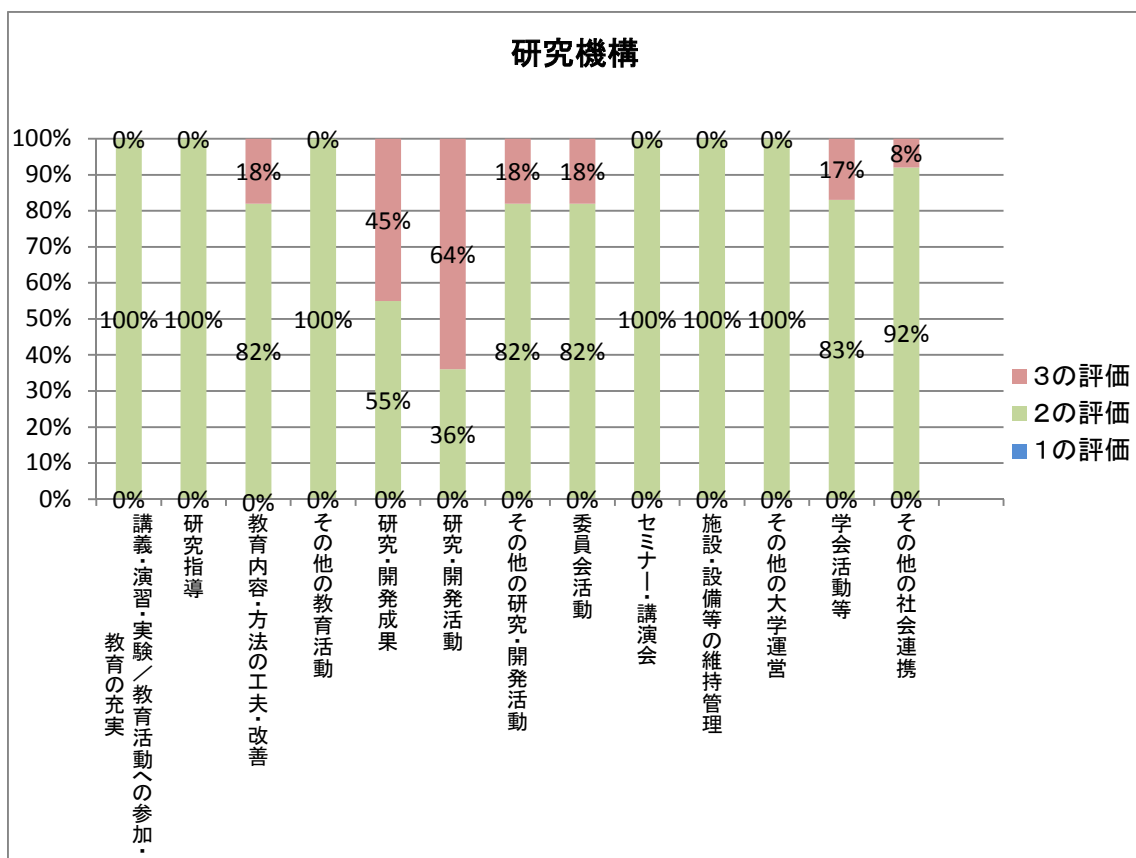


	教育		研究		大学運営		社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	7	47%	7	47%	7	47%	2	29%
2の評価	8	53%	7	47%	8	53%	5	71%
1の評価	0	0%	1	6%	0	0%	0	0%

※英語教育開発センターでは、社会貢献活動領域の評価を教育活動領域で実施することをセンターの評価実施要領で定めているため、社会貢献項目については、英語教育開発センター所属教員を除いた人数をグラフ化した。

(外部用)

(6) 研究機構 (評価対象人数: 12名)



	教育							
	講義・演習・実験 ／教育活動への 参加・教育の充実		研究指導		教育内容・方法の 工夫・改善		その他の教育活 動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	0	0%	2	18%	0	0%
2の評価	12	100%	11	100%	9	82%	12	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	研究					
	研究・開発成果		研究・開発活動		その他の研究・開発活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	5	45%	7	64%	2	18%
2の評価	6	55%	4	36%	9	82%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%

(外部用)

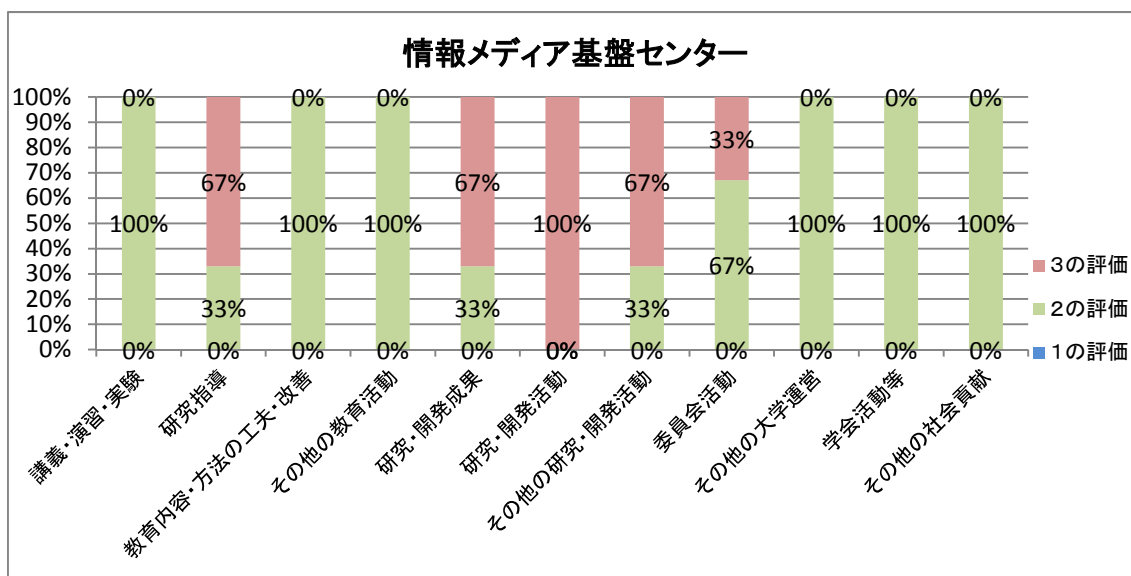
	大学運営							
	委員会活動		セミナー・講演会		施設・設備等の維持管理		その他の大学運営	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	2	18%	0	0%	0	0%	0	0%
2の評価	9	82%	5	100%	5	100%	11	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	社会貢献			
	学会活動等		その他の社会連携	
	人数	割合	人数	割合
3の評価	2	17%	1	8%
2の評価	10	83%	11	92%
1の評価	0	0%	0	0%

※研究機構では各センター等で評価項目が異なるため、各評価項目の合計人数が一定ではない

(外部用)

(7) 情報メディア基盤センター (評価対象人数：3名)



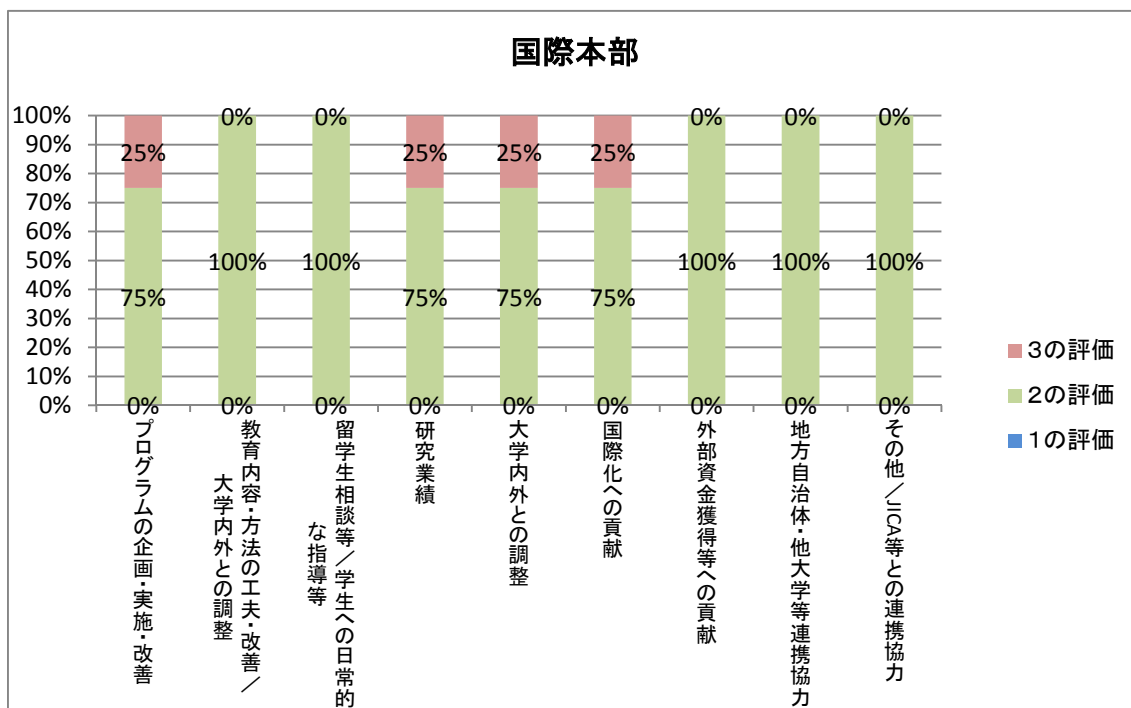
	教育							
	講義・演習・実験		研究指導		教育内容・方法の工夫・改善		その他の教育活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	0	0%	2	67%	0	0%	0	0%
2の評価	3	100%	1	33%	3	100%	3	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

	研究					
	研究・開発成果		研究・開発活動		その他の研究・開発活動	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	2	67%	3	100%	2	67%
2の評価	1	33%	0	0%	1	33%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%

	大学運営				社会貢献			
	委員会活動		その他の大学運営		学会活動等		その他の社会貢献	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
2の評価	2	67%	3	100%	3	100%	3	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

(外部用)

(8) 国際本部 (評価対象人数: 4名)



	教育					
	プログラムの企画・実施・改善		教育内容・方法の工夫・改善／大学内外との調整		留学生相談等／学生への日常的な指導等	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	1	25%	0	0%	0	0%
2の評価	3	75%	4	100%	4	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%

	研究			
	研究業績		大学内外との調整	
	人数	割合	人数	割合
3の評価	1	25%	1	25%
2の評価	3	75%	3	75%
1の評価	0	0%	0	0%

	大学運営		社会貢献	
	国際化への貢献	外部資金獲得等への貢献	地方自治体・他大学等連携協力	その他／JICA等との連携協力

(外部用)

	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3の評価	1	25%	0	0%	0	0%	0	0%
2の評価	3	75%	4	100%	4	100%	4	100%
1の評価	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%